

アドバイザー支援における注意事項

- 町内会アドバイザー派遣制度では、2つのタイプに分かれた支援を行います。
(単位町内会または連合町内会でお申し込みください)
- 2つのタイプを合わせて、17地域程度での支援を想定しています。応募多数の場合は抽選となります。
- 支援日時については、申込者とアドバイザーで協議の上、決定いたします。
- 支援(打合せ)に使用する会場は、申込者がご用意ください。

町内会アドバイザー派遣 申込方法

1 電話 011-522-5070 (受付時間: 平日9:00~17:30)

2 メール contact@kitaba.co.jp

3 FAX 011-205-0311

メール、FAXで申し込まれた方は
受付後に担当者から
連絡いたします。

申込期限

2024. **8.20** 火

※応募多数の場合は抽選により支援地域を決定します。



▼ 下記枠内項目を担当者にお伝えください。(FAXの方はご記入のうえ送信ください) ▼

希望する支援タイプ (希望するもの) (1つだけに○)	希望する 1 総合型支援 3~5回程度 <input type="checkbox"/>	希望する 2 継続型支援 2~3回程度 <input type="checkbox"/>
希望する 具体的な支援内容		
町内会名	代表者名と役職	
電話番号	FAX番号	
住所	メールアドレス	

※ご提供いただいた個人情報は、本事業目的以外には使用いたしません。

申込み・
問い合わせ先

株式会社 KITABA 担当者 阿部、松田 (電話受付: 平日9:00~17:30)
〒060-0061 札幌市中央区南1条西12丁目322番地 新永ビル9階



運営方法や課題でお悩みの町内会へ

町内会 アドバイザー 派遣

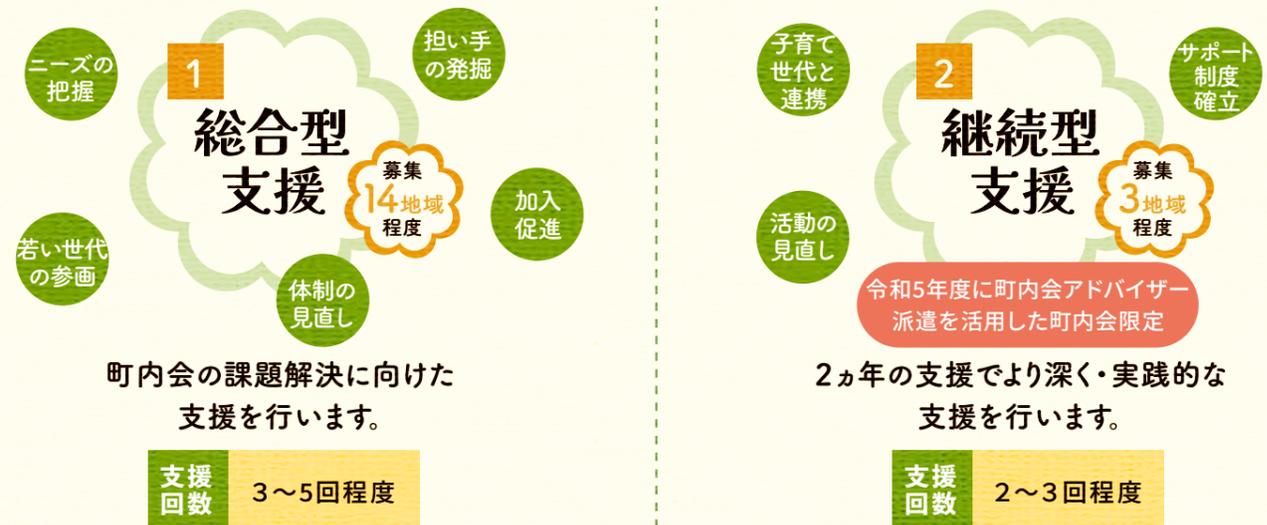
募集
17地域
程度



これからの札幌の町内会・自治会運営を考えた町内会への支援

町内会アドバイザー派遣では、町内会それぞれの課題やお悩みを聞き取り、
町内会の活性化に向けた支援内容に合わせてアドバイザーを派遣します。

町内会の状況に合わせた2つの支援タイプ



2つの支援タイプの詳細とお申込みは中面・裏面へ

※令和5年度の支援を受けた町内会については、「継続型支援」にのみエントリー可能です。

主催: 札幌市市民文化局 市民自治推進室
業務受託者: 株式会社 KITABA

町内会の状況に合わせた2つの支援タイプ

町内会アドバイザー派遣制度は、みなさんの町内会の状況に合わせて、2つのタイプに分かれた支援を行います。

1 総合型支援

募集
14地域
程度

3~5回程度

- どんな支援方法?
町内会の課題解決とこれからの町内会運営に向け、一緒に考えます。
- こんな町内会向け
解決したい課題がある・町内会の課題を発見して解決したい



2 継続型支援

募集
3地域
程度

2~3回程度

令和5年度に町内会アドバイザー派遣を活用した町内会限定

- どんな支援方法?
2カ年の支援でより深く・発展的な支援を行います。
- こんな町内会向け
令和5年度からの支援のより発展的な継続を希望している



例えばこんな支援の流れ (イメージ)

1 アンケートの実施

会員や地域住民を対象に課題の共有、ニーズの把握、担い手の発掘を目的としたアンケートを実施します。

アンケート調査による効果

アンケート調査の結果に基づいて、事業や体制、情報発信の方法などについて見直しを行います。

2 課題の把握・分析

アンケート結果から課題を把握・分析します。

例 課題の例

担い手不足という課題に対し、アンケート結果から、原因は会員へ情報がうまく届いていないために、町内会・自治会のことをよく知らないせいではないかと分析しました。

支援による効果

これらの支援によって、以下のような効果が期待されます。

- 担い手発掘
- 活動の棚卸し
- 若い世代の参画
- 加入促進
- など

3 解決に向けた方法の検討・支援

町内会の世帯数や構成などをふまえ、どんな方法で解決すべきかを検討し、支援します。

例 町内会・自治会のPR冊子活用



町内会・自治会の活動紹介だけでなく、災害時や緊急時の情報などを掲載し、読んでもらいやすい冊子を作成・活用!

例 サポーター制度^{※1}の確立



サポーターと役員の顔合わせを行いながら、サポーターが町内会を気軽に手伝える仕組みをつくり、活動への参加のきっかけにする!

例 電子回覧板^{※2}を活用した若い世代への情報発信



電子回覧板の導入を検討し、若い世代に情報を届けやすしたり、興味をもってもらえそうな活動をお知らせ!

例 町内会運営のスリム化



町内会の規模や地域のニーズに合わせて組織体制や取組を見直すことで、役員の負担を軽減!

札幌市では「町内会デジタル化出前講座」もご用意しています。詳しくは別添チラシをご覧ください。

例えばこんな支援をします!

●サポーター制度の充実

昨年度の活動

地域の若者や子どもたちに町内会を知ってもらうことができた!



●多様な主体と連携した活動

昨年度の活動

地域のニーズを把握することができた! 活性化の方向性が見えてきた!



こんな支援!



サポーター候補者と役員の顔合わせのセッティング、役割分担、連絡調整の方法など、スムーズな取組に向けた支援をします。

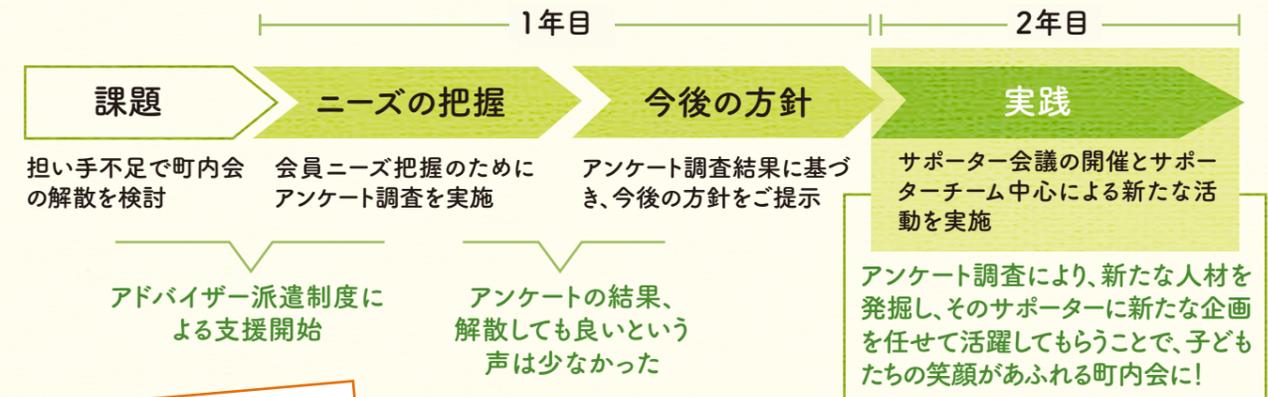
こんな支援!



ニーズにこたえるイベント企画のお手伝いなど、1年目に固まってきた方針にそって実際に取り組む支援をします。

2カ年の継続した取組でこんな活性化の事例も生まれています

事例 アンケート調査による人材発掘で若い世代と連携した町内会へ



アドバイザー派遣制度による支援開始

アンケートの結果、解散しても良いという声は少なかった

アンケート調査により、新たな人材を発掘し、そのサポーターに新たな企画を任せて活躍してもらうことで、子どもたちの笑顔があふれる町内会に!

令和6年度町内会アドバイザー派遣の事例からこれからの町内会運営を考えます

令和6年度アドバイザー派遣制度 総括・意見交換会

アドバイザー派遣制度の成果を共有し、成果に関わるレクチャーや意見交換会を行います。来年度以降にアドバイザー派遣制度の利用を考えている町内会や他の町内会の活動を知りたいという町内会はぜひご参加ください。新たな発見や課題解決の糸口が見つかるかも!

参加してみたい町内会にご連絡ください!



※1 町内会活動のお手伝いを担ってくれる住民を登録し、単発的に行事の運営スタッフなどを手伝ってもらった仕組みです。現役世代などが時間の都合が合う時に町内会活動に参加することができます。

※2 これまでの紙の回覧板を画像などに電子化し、SNSや電子メール、ホームページなどのインターネットを活用して会員に届ける仕組みのことを札幌市では「電子回覧板」と呼んでいます。